

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月21日(木曜日)

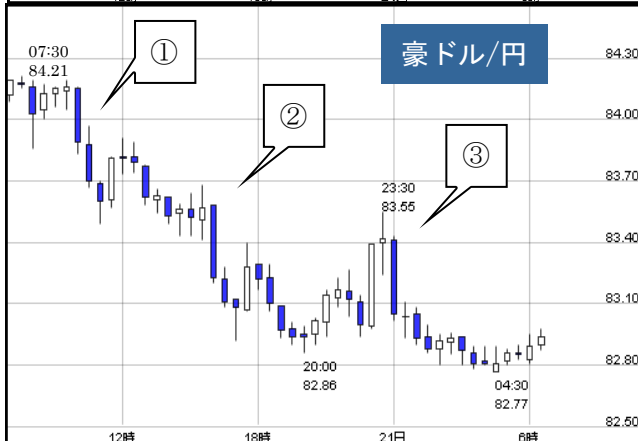
ユーロ/円

ユーロ/ドル

豪ドル/円

## ユーロ/ドル、1.40ドルラインの攻防に注目 豪ドルは中国経済の動向がカギ

### 20日(水)の主な推移



期間：20日(水)午前7時～21日(木)午前7時

※チャートは30分足 日本時間にて表示

出所：外為どっとコム

①

中国の金融当局が主要金融機関に対して、月内の融資の停止や預金準備率引き上げを要請し、金融引き締め姿勢を強めていることが報じられると、中国の景気冷え込みへの懸念から、豪ドルが円に対して下落。豪ドル/円主導で円高が進行。資源価格(商品価格)と連動性の強いユーロもドルや円に対して急落した。

②

欧州市場序盤では東京市場の流れを引き継ぎ、ギリシャ財政懸念を背景にユーロが主要通貨に対して下落し、中国の金融引き締めへの懸念から豪ドルなどの資源国通貨が円やドルに対して軒並み下落。ユーロ/円相場は20日夜にほぼ1カ月ぶり安値 128.38 円を記録した。

③

中国の金融引き締めへの懸念は米国株式市場にも波及し、米ダウ平均株価は 100ドル以上下落。外国為替市場でもリスクを取ることに消極的な動きが強まり、円やドルが堅調に推移する一方、ユーロや豪ドルの軟調に推移した。ユーロ/ドルはほぼ5カ月ぶり安値 1.4079ドルを記録、豪ドル/円はほぼ3週間ぶり安値 82.77 円を記録した。

## ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

## 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

## 本日の見通し

### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4065-1.4230ドル  
ユーロ/円 : 127.85-129.80円

### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 82.30-84.20円

ユーロ/ドルは、心理的節目である1.40ドルラインを割り込むか否かが見極めのポイントとなる。ギリシャ財政への漠然とした懸念でユーロの下落が続いているが、1.40ドルライン手前では一旦底堅く推移する可能性が少なからずあるだろう。本日のイベントをこなせば、明日22日は材料が少ないことから、ユーロの下落に一旦歯止めがかかる可能性があるだろう。

ユーロ/円はやや下落基調の推移が続くようだ。ユーロ/ドルの1.40ドルライン手前での底固さが示されれば、ユーロ/円の下支え材料となるが、弱く推移の続く豪ドル/円の推移に引きずられる可能性に注意を要する。

豪ドル/円は、豪州の金利先高観を背景に、ユーロ/円よりはやや底堅い推移が期待できそうだが、世界経済の先行き不透明感が強まっていることを背景に、戻りは鈍いとみられる。

当面の豪ドル/円の不透明要因は、中国経済の行方である。中国金融当局は金融引き締め姿勢を強めているが、経済の堅調な推移が続くとの見方が強まれば、豪ドル/円も底堅い推移が続くやすく、中国経済が急速に減速するとの懸念が強まれば、豪ドル/円も下落する可能性が高くなる。本日発表の中国国内総生産に注目したい。

## 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/21(木)	11:00	○	(中) 第4四半期実質国内総生産 [前年比]	8.9%	10.5%
	18:00		(ユーロ圏)ECB 月例報告	—	—
	22:00	○	(米)ゴールドマン・サックス第4四半期決算	—	—
	22:30	○	(米) 1/17までの週の新規失業保険申請件数	44.4万件	44.0万件
	24:00	○	(米) 1月フィラデルフィア連銀景況指数	20.4	18.0
	—	○	(米)グーグル第4四半期決算	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com